

パブリックコメント案への反映について

- 1 まちづくり委員会に関すること
- (2) まちづくり委員会の任期について

No.	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
1	前期計画の趣旨や評価基準、現状把握、今後注力すべき範囲についての議論などを考えると、委員として携わる期間が短い。また留任した委員であっても前期、後期で動きに連続性がないことは問題と考える。 最低でも2年間、計画期間中の5年間も委員として計画実行の進捗状況を審議する過程があってもよいのではないか。	▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 計画期間中の進捗状況の審議については、現在、委員7人以内をもって組織する「三郷市総合計画等懇話会」を設置して、ご審議いただいております。 今後の三郷市まちづくり委員会や三郷市総合計画等懇話会の在り方等について、ご意見を参考に検討してまいります。
		▶ 追加回答 現在、ご意見のもと見直しを進めております。
		▶ パブリックコメント案への反映 なし

- 2 序論に関すること
- (2) 「計画策定にあたって」について

No.	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
2	前期基本計画では資料編（164ページ）にSDGsについての説明があるが、SDGsのアイコン一つ一つの説明があった方がよいのではないか。	▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 他自治体では、SDGsの1つ一つのアイコンの説明を記述し、自治体の施策とどう関わってくるかを記載している総合計画もあります。 他の内容も含めた資料編の内容と合わせて、検討してまいりたいと考えています。
		▶ 追加回答 第7回まちづくり委員会において、資料編を含めた計画冊子全体についてお示しする予定であります。その際、ご意見を踏まえた構成を検討してまいります。
		▶ パブリックコメント案への反映 なし

(4)「三郷市の特性」について

①地域幸福度（Well-Being）指標について

No.	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
3	<p>この図の縦軸横軸の数値幅が均等ではなく、「ゼロ・ゼロ」の基準があまり強調されていないため、傾向を見るためには誤解が生じる。そもそも「差」を見る散布図であるならば、表現方法を工夫してほしい。</p> <p>例えば、「客観指標・主観指標ともに高い傾向」については、「遊び・娯楽(7位.3位)」のみではなく、「初等・中等教育(3位.7位)」も数値を見れば同様になるのではないか。差の数値が示されていないため、この縦横の基準が異なる散布図では判断しづらい。</p> <p>これで地域幸福度指標を示してしまうと、他の9団体の数値に三郷市の特徴が溶け込んでしまっている可能性が大きくなるように感じるが、いかがか。</p> <p>また、他の9団体が選ばれた理由等をもう少し細かく説明しないと「差を比較する」という作業に合理性が見いだせず、17p以降の記述に影響があると思われるがいかがか。</p>	<p>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記）</p> <p>今回、地域幸福度を測る各項目の指標を類似団体の平均値と比較し、主観指標・客観指標が平均値よりも顕著に低い項目を三郷市の「弱み」、同等以上を「強み」として分析いたしました。</p> <p>このような分析結果を一目で把握するには、散布図が望ましいと考え、今回使用している図を採用しました。</p> <p>国のホームページでは、散布図、レーダーチャート及び折れ線グラフ等を掲載している状況です。</p> <p>それぞれの表現方法には、メリット・デメリットがあるかと存じます。グラフの表現方法や資料編への掲載などの工夫について、検討してまいります。</p> <p>また、ご指摘のとおり、0の軸が強調されていないため、弱み・強みを把握するために必要な位置関係が見にくくなっているのが現状です。こちらについても、表現を検討してまいります。</p> <p>なお、順位と差の関係については、自治体間による値のバラつきが大きい場合など、同じ順位であっても平均値との差には違いが生じております。それを、平均値との差はグラフの位置で、類似団体内での位置関係をカッコ内の順位で示すことで、三郷市の現状を示しているものとなります。</p> <p>数値幅につきましては、図表の表示スペースに合わせて現在調整をしていることや、差がマイナスかプラスかという位置関係を見ていただくことを目的としていることから、このような均等でない形式としておりました。ご意見を踏まえて、可能な範囲で縦・横の幅を調整してまいります。</p> <p>最後に、類似団体として、9団体の設定理由については、三郷市と類似している人口規模・産業構造等を持つ自治体を選定しております。</p> <p>類似団体の選定理由も合わせて、資料編への掲載など見せ方について検討していきたいと考えております。</p> <p>▶ パブリックコメント案への反映</p> <p>0軸の強調及び数値幅について、図を修正しました。</p>

③団体アンケートについて

No.	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
4	<p>どのような設問がありこの回答になったかが分からないため、設問は記載した方が良くのではないか。</p>	<p>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記）</p> <p>ご指摘のとおり、結果が出た過程を追記したいと考えております。</p> <p>なお、序論（案）は、第6回会議でパブリックコメント案をお諮りする際にその他の修正案と合わせてお諮りしたいと考えています。</p> <p>▶ 追加回答</p> <p>序論においては、結果を端的にまとめた構成としました。過程については、資料編において記載していきたいと考えております。（参考：前期基本計画 P174）</p> <p>▶ パブリックコメント案への反映</p> <p>なし</p>

④ワークショップについて

No.	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
5	どのような設問がありこの回答になったかが分からないため、設問は記載した方が良いのではないか。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） ご指摘のとおり、結果が出た過程を追記したいと考えております。 なお、序論（案）は、第6回会議でパブリックコメント案をお諮りする際にその他の修正案と合わせてお諮りしたいと考えています。</div> <div>▶ 追加回答 序論においては、結果を端的にまとめた構成としました。過程については、資料編において記載していきたいと考えております。（参考：前期基本計画 P174）</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 なし</div>
6	<p>①参加者が27名のみであること、②ワークショップで出てきた意見総数107件のみであり、割合で示すには少なすぎることに、③一人平均3.96件の意見しか出てきていないだけでなく、「多くの意見を出せ」「意見を議論してまとめて減らせ」などの話もなく、意見の数には根拠がないと思われること、④課題取組内容を「市職員が振り分けている」ことなどから、円グラフで示す「傾向」としては、基礎となる数値が確定的とはいいがたい。定量的な「割合」で示すのではなく、「定性的」となる「代表的な意見」を示す形にするべき。</p> <p>定量的に示すことが前提となると「数値の操作」が疑われることになり、このようなワークショップの意見についても、上記④は余計な作業になりかねない。ワークショップでの議論などで出てきた意見を示すだけなら、数値的な根拠があやふやなことから定性的な意見の掲示で充分である。</p>	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 円グラフを削除するよう整えてまいります。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 円グラフを削除しました。</div>

3 後期基本計画の構成等に関すること

(3) 後期基本計画本文の冊子構成について

No.	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
7	<p>「一つの施策を見開き２ページでの編集」が計画の作成・分別管理に便利であることは理解できるが、そのために「具体的な施策を理解する編集」にはなり得ていない。この冊子を見れば総合計画の全容が理解できるような編集を心がけてほしい。</p> <p>また、関連する個別計画等、別途「参考文献」が存在する場合は、それがせめてオンラインで見ることができるようにしないと、総合計画の体をなさない。「各計画」を見ることができずに終わってしまい、「情報公開」からはほど遠い編集方針となってしまう。</p>	▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） ご意見をもとに、計画を見る市民と計画を活用する職員の双方にとって分かりやすい計画策定に努めてまいります。
		▶ 追加回答 引き続き計画冊子の校了に向けて確認してまいります。
		▶ パブリックコメント案への反映 なし

(4) 数値目標について

No.	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
8	<p>配布された実施計画を確認したところ、複数の目標項目が記載されており、どの項目がどの施策に対応するのかが不明確である。今後も同様の形で提示されるのか。</p>	▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 資料作成時に数値目標と施策・取組みの関係性を明示いたします。
		▶ 追加回答 第7回まちづくり委員会において、数値目標を報告させていただきます。その際、ご意見を踏まえた構成を検討してまいります。
		▶ パブリックコメント案への反映 なし

5 重点テーマに関すること

No.	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
9	後期基本計画における重点テーマ（案）の「持続可能な拠点の形成～まちづくりは道づくり～」について、「道づくり」としているが、項目出しに「道路」の要素が出ていない。項目出しをしてはいかがか。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 重点テーマについては、第5次三郷市総合計画の全体コンセプトとして前期・後期通しで掲げていきたいと考えております。 委員意見のとおり、「道路」については、具体的な記載はなく溶け込んでしまっている状況です。 実際の施策展開にあたっては、拠点形成におけるインフラの一部として下水道や橋、道路などへと具体的に落とし込み、事業化されていくことを想定しております。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 道路ネットワーク軸の構築について追記しました。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 道路ネットワーク軸の構築について追記しました。</div>
10	-	<div>▶ その他のパブリックコメント案修正 第5回会議後に実施した、答申案を整理するための意見傾向に係る照会の結果を踏まえ、読書やスポーツに関する記載を追記するとともに、こども・子育て支援について明記しました。</div>

6 後期基本計画本文に関すること

(1) まちづくり方針1に関すること

②1-1-2 風水害対策の強化について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
11	令和6年大雨の際、排水機場の不具合に関してニュースになり、市民の注目を集めているので詳細を記載する必要があると思われる。 ここでの記載変更は、この取り組みの対象となる排水機場が変わったことによるものであると読めるが、結局「上」「下」の変更になってしまう。下流排水機場に関する取り組みが終わったことを記載しておくなど、両者を明示した記載方法としたほうがわかりやすいのではないか。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 三郷排水機場で不具合が発生致しましたが、国の施設であることから、詳細についての記載は考えてございません。 しかしながら、三郷排水機場は建設から約45年経過しており、市管理の排水機場においても、同様に建設から長い年月が経過しているため、今後、計画的な老朽化対策等が必要と考えております。 そのため、今回新たに、「課題」と「施策実現のための取り組み」の中に、排水機場の老朽化対策を記載しております。 大場川下流排水機場の取り組み完了に関する内容、及び、今後新たに組みんでいく大場川上流排水機場のポンプ増強に関する内容につきましては、ご提言のとおり、両方とも治水対策の大きな柱となるものでございますので、今後、現状や課題等において、取組みを実施した効果等の記載を検討し、第6回会議において修正案をお諮りしたいと考えております。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 「現状」の欄に大場川下流排水機場の取り組み完了について、また、「課題」の欄に大場川上流排水機場の増強が必要であることについて記載しました。</div>

⑤1-2-2 交通安全対策の推進について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
12	「シェアサイクル」に関する記述を加えていく必要がある。現状では「実証実験」の記述もなく、結果として「思い付き」の施策となってしまう。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 現計画では、「交通安全」と「公共交通」を異なる「まちづくり方針」の中に位置付ける整理といたしました。 後期基本計画では「関連する取組み」の欄にまちづくり方針4の記載を紐づけるなど、各方針間で取組む施策の関連付けにつきまして、最適化を検討してまいります。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 「シェアサイクル」に関する記述は「4-2-3 公共交通アクセスの充実」にあるため、「関連する取組み」の欄に記載しました。</div>
13	「7歳」を裏付けるデータもどこかに掲載した方が説得力があるのではないか。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 埼玉県、公益財団法人交通事故総合分析センターなどの統計情報を参照して計画素案を作成しました。総合計画”冊子”への記載の有無や記載方法については、全体バランスを鑑みて検討してまいります。 ※財団法人交通事故総合分析センター・・・国家公安委員会から道路交通法に基づく「交通事故調査分析センター」の指定を受けた機関。</div>
14	「7歳の割合が突出して多いとされています。」という記述の場合、根拠を示す必要があるのではないか。「誰が多いと認識しているのか」を計画での文言では明確にする必要があるはず。	<div>▶ パブリックコメント案への反映 現状の記載について、統計情報である旨を記載しました。 課題については、7歳のこどもに限らず小学生全体を包括する記載に改めました。</div>
15	現状課題の項目で、7歳の交通事故死傷者数の割合が突出して多いという記載について、引用元が示されていないため、財団法人交通事故総合分析センターや埼玉県の統計など、脚注で引用元を示すべき。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 現状の2つめ「7歳の割合が突出して多い」を「小学生の割合が多い」に、課題の1つめ「7歳」を「小学生」に改め、脚注として「国の関係機関、埼玉県の統計では歩行中における交通事故死傷者数について、7歳の割合が多いとしています。」というような記述を検討します。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 No.12,13と同じ</div>
16	「また、幼児・児童生徒への働きかけに当たって、保護者・教育者に対して「継続的な教育」と「問いかけ」の「きっかけ」と「環境」を提供します。」 この文章では並列が多すぎて誰に何をしたいのか、わからない。 「幼児・児童生徒への働きかけに当たって、」を削除し、「保護者・教育者に対して、①継続的な教育、②問いかけのきっかけづくり、③問いかけの環境づくりなどを行います」などの修正を加えるのはいかがか。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） ご提案いただいた文章を参考に、記載方法の見直しを検討します。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 当該記載について分かりやすい記載となるよう修正しました。</div>

(2) まちづくり方針2に関すること

②2-1-1 妊娠・出産に対する社会的支援の強化について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
17	「外国籍」は国籍だけの問題ではないので「海外（又は外国）ルーツの家庭の増加」とし、「景気低迷」を削除、又は「物価高騰」としてはどうか。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） いただいたご意見を踏まえ、現状に即した表現となるよう検討してまいります。 1 1 月に開催予定の第6回まちづくり委員会において修正案をお諮りさせていただきます。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 「外国籍」を「外国ルーツの家庭の増加」へ、「景気低迷」を「物価高騰」へ修正しました。</div>
18	「こども家庭センター」を記載してはどうか。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 総合計画において、施策の実現に取り組む組織名（課名）を明記することにより、計画全体のバランスに影響を及ぼすことが懸念されるため、計画では組織名を明記せず、本文案どおりの表現とさせていただきます。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 「現状」の欄に『令和6年4月にこども家庭センターを設置して、母子保健機能と児童福祉機能の一体的な運営による機能強化を図ることで、妊産婦や子育て家庭への包括的・継続的な支援を推進しています。』の一文を追記し、「施策実現のための取組み」の欄の「母子保健と児童福祉の機能連携」の取組み内容に『こども家庭センターにおいて』の文言を追記しました。</div>
19	こども家庭センターは三郷市の特定の部局名ではなく、厚生労働省の政策に基づく名称であるため、国の政策と足並みを揃えて事業を実施する観点から、後期基本計画に明記すべきである。 また、前期基本計画は「子育て世代包括支援センター」が明記されていたことや、他の項目では「ファミリーサポートセンター」の追加が検討されているため整合性が取れないのではないか。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 本市においても、子育て世帯等に対する相談・支援機能を一体的に行う体制を整備し、各事業等を実施していることから、委員ご提案の「こども家庭センター」を明記することについて検討してまいります。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 No.17と同じ</div>
20	-	<div>▶ その他のパブリックコメント案修正 「施策実現のための取組み」の欄の「不妊に関する支援の実施」について、不妊治療は令和4年度から保険適用になっており、本市においても令和7年度末をもって不妊治療費の助成を終了するため、不妊治療に関する文言を削除しました。</div>

③2-1-2 子育てと仕事の両立支援について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
21	女性の問題と誤解される恐れがあるので、「女性の就業率の上昇」ではなく、「共働き家庭・ひとり親家庭の増加」としてはどうか。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） いただいたご意見を踏まえ、現状に即した表現となるよう検討してまいります。 11月に開催予定の第6回まちづくり委員会において修正案をお諮りさせていただきます。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 「女性の就業率の上昇」を「共働き家庭・ひとり親家庭の増加」に修正しました。</div>
22	「相互援助活動等」だけではわかりにくいので、「ファミリー・サポート・センター」の文言を追加してはどうか。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） いただいたご意見を踏まえ、現状に即した表現となるよう検討してまいります。 11月に開催予定の第6回まちづくり委員会において修正案をお諮りさせていただきます。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 「相互援助活動等」の補足説明として、「（ファミリー・サポート・センター）」の文言を追記しました。</div>
23	幼稚園・保育施設の職員不足が記載されていることについて、人口減少が進む中で福祉人材の不足は重要な課題であると認識している。 しかし、取組み部分には、この職員不足に対応する具体的な内容が不足しているように見える。三郷市のホームページには、保育園等で働く人に対する支援として、企業の給与上乘せや家賃補助などが実施されていることが示されているため、人材確保についての取組みも取組み部分に加筆すべきである。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 保育人材の確保については重要なことと認識しておりますので、まちづくり方針 2-1-2 の施策実現のための取り組み（安心してこどもを預けられる環境整備）において、人材確保に係る記載を検討してまいります。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 「施策実現のための取組み」の欄の「安心して預けられる環境整備」の内容について、「事業及び人材確保について」の文言を追記しました。</div>

④2-1-3 こどもや子育て家庭への支援について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
24	「相対的貧困の格差」ではなく「家庭の経済状況の格差」、「貧困による負の連鎖とならないよう」には説明を入れて「親から子への貧困の連鎖を断ち切るために」とした方が良いのではないか。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） いただいたご意見を踏まえ、現状に即した表現となるよう検討してまいります。 1 1月に開催予定の第6回まちづくり委員会において修正案をお諮りさせていただきます。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 「相対的貧困の格差」を「家庭の経済状況の格差」、「貧困による負の連鎖とならないよう」を「親から子への貧困の連鎖を断ち切るために」に修正しました。</div>
25	項目として、「子育て支援」「子育ての経済支援」が同時に存在することになると、わかりづらい。 項目としては「子育て支援」→「子育て支援拠点の整備」「子育て支援拠点での支援充実」ということなのではないか。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） いただいたご意見を踏まえ、現状に即した表現となるよう検討してまいります。 1 1月に開催予定の第6回まちづくり委員会において修正案をお諮りさせていただきます。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 取組み項目における段階の整理を図るため、「施策実現のための取組み」の欄の取組み名を、「子育て支援」から「子育て支援拠点等における支援の充実」に修正しました。</div>

⑤2-2-1 質の高い教育及び環境の充実について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
26	給食費未納者への対策について、SDGsの「質の高い教育をみんなに」という項目と関連付けて記載されているが、【当日配布資料】第3回会議事前質問シートでの回答にあるように、経済的支援が必要な世帯のこどもかどうかを水道料金や市税の滞納状況から把握していないまま督促だけを行うのは適切ではない。 三郷市の就学援助率8.94%が全国平均（約14%）よりも低い中で、就学援助を受けていない貧困層がいることを踏まえ、この就学援助率をどのように評価しているのか、そして給食費未納対策という取り組みが左側の課題と照らし合わせて適切なのか、再度検討を求めたい。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 「質の高い教育及び環境の充実」から給食未納者への対策については、除外する方向性です。また、経済的な支援が必要な世帯の児童生徒に対する就学援助の率につきましては、認定基準の設定が市の地域情勢に適切に対応しているか等、引き続き情報収集や検証・検討を重ねてまいります。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 計画案中の給食未納者への対策についての文言を削除しました。ご指摘の内容については、業務内で個別に対応を図ってまいります。</div>
27	「自己肯定感」という言葉について、ウェルビーイングに関連する概念であると認識している。しかし、この言葉は解釈を誤ると「現状維持で努力しなくてもよい」とこどもたちが勘違いする危険性がある。 事務局の説明では「挑戦や失敗を許容する環境整備」という背景があるが、それが伝わらないと自己肯定感が誤って解釈される可能性があるため、注釈を加えるか、表現を変更することを検討してほしい。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 自己肯定感は複数の要素から構成される概念であると受け止めております。表現をどのようにしていくかも含め、検証・検討を重ねてまいります。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 国の計画での記載を引用するなど、文言を整理しました。</div>

⑥2-2-2 青少年健全育成の推進について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
28	<p>アウトプット指標であるとともに事業参加者のカウントのみとなっており、複数回参加などが検討されていないのではないかと。そもそも青少年リーダーの定義が曖昧。「なんのための青少年リーダーなのか」がわからないままでは、青少年リーダーを育てる意味が見いだせない。「自然体験活動」も市の事業の参加者をカウントするだけでなく、事業として行われているものをしっかり調査する必要があるのではないかと。</p>	<p>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記）</p> <p>青少年リーダーの定義につきましては、地域の子ども会活動の支援を主に行う中学生・高校生のジュニアリーダーと18歳から39歳までの青少年が埼玉県より委嘱を受けた青少年相談員を示しております。また、コロナ禍においては、青少年リーダー養成に関する事業につきましては、感染リスクを考慮し、事業中止や大人数が長時間集まるような複数回の講習会形式の事業実施ではなく、単回での事業実施に切り替え実施しておりました。</p> <p>その影響を受けて、ジュニアリーダーや青少年相談員の青少年リーダーにつきましては、減員しておりましたが、一昨年度の5類移行を受け、複数回の講習形式の事業実施を再開し、令和7年度には、中学生・高校生を対象とした青少年リーダー養成事業を実施しております。</p> <p>つきましては、委員からのご指摘につきましては、11月開催の第6回まちづくり委員会までに検討を進めてまいります。</p> <p>▶ パブリックコメント案への反映</p> <p>「現状」の欄にコロナ5類移行後の状況を追記し、「施策実現のための取組み」の欄の文言を修正しました。加えて、注釈で青少年リーダーの定義及び本市で活動している青少年団体を表記しました。</p>
29	<p>「三郷市では、コロナ禍による青少年団体の活動休止等により、青少年の地域活動や交流は減少傾向となっています。」</p> <p>コロナ禍を終えた現在、コロナ禍での活動減少に対する危機感を乗り越え、全国的にはむしろ青少年の地域活動は増加しています。コロナ禍での改善策の実施が功を奏していると思われます。</p> <p>例えば、「2022 年度報告 横浜市青少年育成センター」では、数値的に利用団体数、利用人数、相談件数はコロナ禍前を超えた数値を示しています。</p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/kosodate-kyoiku/ikusei/shisetsu/ikusei.files/0013_20231003.pdf</p> <p>また市内で言えば、ボーイスカウト三郷1団は現在コロナ禍を乗り越えて参加者が増えていますし、その分活動回数も増えています。こども政策課の事業の一環として「プレーパークみさと」が行われるなど、におどり公園で行われるイベント等を見ても、青少年向けの活動は増加の一途です。</p> <p>「一時期減少した」ことは理解できますが、すでに乗り越えていると言って良い状況です。</p> <p>三郷市青少年課の捉える「青少年団体」が次のページで表示されているものだけであるならば現在の記述は理解できます。しかし、それでは「三郷市のこども全体」ではなく、青少年課担当部分だけということになり、市行政の一体的な事業展開や総合計画としての考え方から乖離してしまいます。</p> <p>https://www.city.misato.lg.jp/kosodate_kyoiku/kenzenikusei_seishonen/seishonendantai/index.html</p> <p>現状の課題としての記述は、対象となる範囲がごく一部のものになってしまっているため、「三郷市では」ではなく「三郷市の行政が主催する事業では」などに変更を求めます。</p> <p>または、課題として詳細な分析を行う必要を感じますので、前期と異なる部分を後期では記述すべきです。</p>	<p>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記）</p> <p>委員からのご指摘につきましては、コロナ禍を受けた現状を示させていただきました。先の質問での定義をお示ししました団体につきましても活動を再開しており、特に青少年相談員においては、小学生を対象にした事業を展開しているところでございます。委員からのご指摘につきましては、11月開催の第6回まちづくり委員会までに検討を進めてまいります。</p> <p>▶ パブリックコメント案への反映</p> <p>No.27と同じ</p>

(3) まちづくり方針3に関すること

④3-1-1 生活環境の保全について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
30	-	▶ その他のパブリックコメント案修正 生活環境トラブルにかかる現状について、実状に応じた記載へ修正しました。

④3-2-3 公共下水道の整備について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
31	「上下水道一体で下水道施設の耐震化を行う」 公共下水道に関する項目の中で、「上下水道一体で」を付ける意味とその理由がわからない。 「3-2-3 公共下水道の整備」の課題であることから、「上下水道一体で」何をどう行うのかの詳細を記述するか、「上下水道一体で」を削除するか、「上下水道一体で耐震化を行う」のどれかを選ぶ必要がある。 ちなみに、次ページの取り組みではそのような記述になっている。	▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 令和6年1月に発生した能登半島地震では、上水道と下水道施設の耐震化が未実施であった基幹施設等で被害が生じたことにより、復旧を長期化を生じさせた教訓から、国の要請を受け令和7年1月に水道と下水道が一体となって取り組む「上下水道耐震化計画」を策定しております。 ご提言を頂きましたとおり、上下水道施設が一体となって耐震化を行う目的や内容が分かりづらいため、今後、記載内容について検討し、第6回会議において修正案をお諮りしたいと考えております。 ▶ パブリックコメント案への反映 下水道施設の耐震化を行う理由を詳細に記述し、記載内容を整理しました。

(4) まちづくり方針4に関すること

②4-1-2 地域特性を生かした魅力ある拠点の形成について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
32	課題について 「新三郷駅東口周辺については、今後の発展が期待されています。」 とあるが、大規模な区画整理事業が始まった吉川美南駅北側に対し、どういう展望なのか。 聞くとところによると、青田買いにより実質的な所有者が細分化されすぎて開発不能となっているとか。 駅近かつ大規模商業地区至近の好立地にもかかわらず、資材置き場や駐車場、墓地等にしか利用されておらず、人口増加やそれに伴う固定資産税、都市計画税収入などの機会損失が甚だしい。 意志を持って、計画的に進めるべきと考える。 また、みさと団地についても昭和40年代に建設されて既に約60年が経過している。 リノベーションに成功した豊四季団地や松原団地を参考に、駅近、大規模商業地区至近という好立地を活かしたエリアへの抜本的改革が望まれる。	▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 新三郷駅東口の課題につきましては、「三郷駅東口周辺やみさと団地については、地域拠点として駅を中心とするまちづくりが期待されています。」などに、記載内容を変更する方向で調整してまいります。 ▶ パブリックコメント案への反映 過去回答のとおり記載内容を修正しました。

④4-2-1 憩いとなる公園づくりの推進について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
33	<p>すでにこども政策課により試行されている「プレーパーク」に関して、取り組みに掲載する必要がある。施設ハード面だけの記述ばかりではその施設で行われているソフト面の施策がわからず、結局具体的にどのように使うことができるのかわからない。さらにハードを「管理すること」ばかりが強調され、ハード管理のために「利用者の行動」が制限されていってしまうことが多い。</p> <p>（その結果、公園でのキャッチボール、サッカーの制限などにつながってくる。）</p> <p>プレーパークでは焚き火の利用などが行われ、「大人の管理のもと」安全な遊びが展開されている。管理する視点だけでは、このような遊び方が否定・規制されるばかりになってしまうことが公園管理の課題になっているからこそ、「ワークショップ」などにより、住民の意見を聞く機会が必要になっているのだと思われる。</p> <p>なお、草加市では市の WEB サイトで事業の紹介をしている。 草加市冒険遊び場 https://www.city.soka.saitama.jp/cont/s1602/040/010/010/01.html</p>	<p>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記）</p> <p>プレーパークなどの「子どもの居場所づくり」につきましては、（総合計画の）他の施策において課題としてあげられていることから、そちらの施策において掲載できるか関係課と調整してまいります。</p> <p>また、現在、公園に対する市民ニーズは多様化しており、委員ご提案のとおり、公園利用に関して、住民から意見を聞く必要性については認識しておりますので、今後、公園利用のルールづくりにおける市民の関わり方について、検討してまいります。</p> <p>▶ パブリックコメント案への反映</p> <p>プレーパークなどの「こどもの居場所づくり」につきましては、施策 2-1-3 こどもや子育て家庭への支援の「こどもの居場所」づくりの推進の取組みに含まれているため、「関連する取組み」の欄に記載しました。</p>

⑥4-2-3 公共交通アクセスの充実について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
34	<p>MaaS に関する進展状況を前期と後期を比較して示すべき。その多くはすでに google マップなどを利用して実現してしまっていることは多い。</p>	<p>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記）</p> <p>ご指摘の通り、鉄道や路線バス、自家用車などを組み合わせた目的地までの経路検索や、タクシーの配車アプリの普及など、スマートフォンの活用により、多くの情報を取得できる環境がすでに実現されております。</p> <p>残念ながら MaaS の具現化については、前期、後期の比較における具体的な進展をお示しできる状況にはございませんが、今後も引き続き MaaS の概念を取り入れた、公共交通の利用環境整備について検討してまいります。</p> <p>また、近隣市と連携した枠組みとして、現計画に記載いたしました協議会のほか、令和 5 年に「東部地域道路交通研究会」を発足させ、渋滞緩和や自動運転の実証実験などに関する検討を進めております。</p> <p>このような取り組みを追記するとともに、取り組み名の検討を含め、今後、記載事項の最適化を図ってまいります。</p> <p>▶ パブリックコメント案への反映</p> <p>「施策実現のための取組み」の欄の「MaaS の具現化」の項目に東部地域道路交通研究会について追記しました。</p>

35	路線バスは多額の助成金が投入されているが利用者数が減少傾向にある。三郷市地域公共交通活性化協議会の記録を見ても根本の解決は非常に難しい状況と思われるが、「課題」に具体的に触れられていない。当該協議会と連携を図り、問題点を明記してもらいたい。	▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 公共交通については関連する個別計画の策定をすすめており、今後の取り組みについて検討しております。 現状の把握と課題の抽出についても、取りまとめ、整理する予定です。 （運転手不足や物価上昇による事業者負担の増加など）
		▶ パブリックコメント案への反映 現在検討を進めている個別計画を「関連する個別計画」の欄に記載しました。

(5) まちづくり方針5に関すること

③5-1-3 都市型農業の振興について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
36	農業の担い手の育成・確保に向けた支援について 現在ある団体等への支援は表記されていますが、新規就農者に対する支援について、施設の建設費や農機具等の支援（助成金・低金利貸出等）などの表記は、 どの様になっていますか。	▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 新規就農者へ対する支援についても追記いたします。 具体的な方向性としまして、各種農業団体に対し活動支援を行い、農業者団体の育成に努めます。特に、農業後継者団体への活動支援と組織強化に努めます。 また、新規就農者につきましては、関係機関と連携しながら、就農支援に努めます。
		▶ パブリックコメント案への反映 過去回答のとおり記載内容を修正しました。

⑥5-2-3 グローバルな視点に基づくまちづくりの推進について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
37	-	▶ その他のパブリックコメント案修正 令和7年9月議会で、ギリシャ共和国サラミナ市との姉妹都市の提携について原案可決として議決をいただきました。今後、 ギリシャ共和国サラミナ市と国際姉妹都市協定の締結に向けて調整してまいります。 前期基本計画の当該施策の課題では、「国際友好都市協定」という文章がございますが、これを受け、「国際姉妹都市協定」として正式に締結を進めていくことから文章の修正を行いました。

(6) まちづくり方針6に関すること
特に無し

(7) まちづくり方針7に関すること

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
38	-	▶ その他のパブリックコメント案修正 記載誤りの修正

(8) 経営方針 1 に関すること

③経 1-3 市民のまちづくりへの参加について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
39	総務省「通信利用動向調査」を確認すると、中学生以上 70 歳までの市民の 90%以上がインターネットを活用しているのであるから、SNS、WEB など I C Tを活用した「重層的な情報発信」と「市民参加機会の確保」をこれまで以上に積極的に行う取り組みを明示すべき。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） いただいたご意見を踏まえ、デジタルツールを含めた様々な広報媒体による発信を進めるため、経営方針 2-1 取組み「広報活動の推進」の見直しを行うとともに、市民参加機会の確保においては、周知のみならず市民参加の場面においてもデジタルツールの利活用が進むよう、経営方針 1-3 取組み「市民参加機会の確保」の修正を図ります。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 「施策実現のための取組み」の欄の「市民参加機会の確保」にデジタル媒体の活用を記載しました。</div>

(9) 経営方針 2 に関すること

①経 2-1 シティブランディングの強化について

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
40	<p>台湾の友人が都内観光後三郷市内の我が家に来訪。その家族は「イケアとコストコに行きたい、連れて行け」ということで、その日はイケアとコストコで買い物後、三郷駅前のビジネスホテルに宿泊。翌日ホテルからバスに乗って早稲田団地内の我が家を再訪問。昼の宴会のあと三郷駅から成田空港に向かい、帰国した。この間、本人たちがすべて中国語で検索し、ホテル予約、バス運賃確認、バス路線確認、空港までの経路確認をスマホから行っていた。実はそのような工程を辿っている台湾人は多いらしく、台湾人間での情報共有が行われていると聞いた。</p> <p>このような工程を見る限り、「（観光も含め）三郷市の魅力は行政が発信しなくてもわかっている人はわかっている」ということになる。行政からの発信が中国語で行われていないことを見れば、発信が足りないことは明らかである。</p> <p>わかっている情報は何しろすべて検索ができるようにインターネット上にあげておけば、機械が翻訳してくれるため、便利に活用できる。</p>	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） いただいたご意見にありますように、現在はあらゆる情報が検索の網にかかっており、本当に価値のある情報は特段のプロモーションを行わなくても「見つかってしまう」時代であると認識しております。このようなことから、本市の様々な魅力をインターネット、SNS 上に数多く展開しておくことの重要性は高まっております。 経営方針 2-1 取組み「シティプロモーションによる魅力発信」について、網羅的な情報発信に取り組めるよう、文言の修正を考えております。</div> <div>▶ 追加回答 ご提言の内容を含め、「施策実現のための取組み」の「シティプロモーションによる魅力発信」に取り組む中で時代に合った手法を模索してまいります。 （引用）シティプロモーションによる魅力発信 市の各施策における取組状況やまちの様々な魅力を市ホームページや SNS 上に数多く展開するとともに、三郷市の魅力を発掘・創造し、市内外への効果的に発信することにより、シティプロモーションに取り組めます。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 なし</div>
41	-	<div>▶ その他のパブリックコメント案修正 修文漏れの修正（今般の SNS の各種サービスにおけるサービス開始・終了などの変動が大きいため、特定のサービス名称を記載しないよう修文するもの）</div>

(10) 経営方針3に関すること

No.	委員からの質問・意見・提言	パブリックコメント案への反映について
42	施策 2-2-1 質の高い教育及び環境の充実 空き教室、放課後の校庭・体育館など、学校施設の開放・利用をより進め、利用料金を定めるなどにより費用を確保し、教育環境の充実を進めてほしい。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 公共施設の利用に伴う応益負担の適正化については、ご指摘の学校施設も含めてすべての施設に関連するため、横断的な施策として経営方針3にて整理するよう検討してまいります。 また、ご指摘いただいた施策ページにおいては「関連する取組み」の欄に経営方針3の記載を紐づける形で、関連を分かりやすく示すよう対応いたします。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 ・公共施設等の有効活用について経営方針3-1「施策実現のための取組み」の「市有財産の適正管理と有効活用」に整理しました。 ・施策 2-2-1 の「関連する取組み」の欄に当該取組みを記載しました。</div>
43	施策 2-2-1 質の高い教育及び環境の充実 学校統合などにより利用されなくなった校舎・校庭・体育館などをより積極的に活用していく方針を示し、利用率を高めていく必要がある。合わせて、市民センターを指定管理とし、効率的・効果的な活用を検討していかないと、利用されない無駄な施設となってしまうことはもったいない	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） 公共施設の利活用の促進については、ご指摘の学校施設も含めてすべての施設に関連するため、横断的な施策として経営方針3にて整理するよう検討してまいります。 また、本施策ページにおいては「関連する取組み」の欄に経営方針3の記載を紐づける形で、関連を分かりやすく示すよう対応いたします。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 No. 40 と同じ</div>
44	施策 1-2-3 市民相談体制の充実 施策 2-1-1 妊娠・出産に対する社会的支援の強化 施策 2-1-2 子育てと仕事の両立支援 施策 2-1-3 こどもや子育て家庭への支援 市民相談は、結局「時間と場所」に縛られざるを得ない状況になっている。取組に「ICT技術の活用」を加え、「Zoom」「meet」などオンラインでの相談体制の確立を検討していかないと、これまで以上の充実は難しい。	<div>▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） ICT技術の活用については、すべてのまちづくり方針に関連する横断的な施策として経営方針3にて整理するよう検討してまいります。 また、本施策ページにおいては「関連する取組み」の欄に経営方針3の記載を紐づける形で、関連を分かりやすく示すよう対応いたします。</div> <div>▶ パブリックコメント案への反映 ・ICT技術の活用について経営方針3-1「施策実現のための取組み」の「最新技術を活用した行政経営」「DXの推進」に整理しました。 ・委員ご指摘の施策に対し、「関連する取組み」として紐づけを検討しておりましたが、行政改革として、検討が進む中、ICT技術の活用はまちづくり方針全体を支えるための位置付けが強いことが再認識されました。そのため、まちづくり方針全体を通して、優先順位をつけてICT技術の活用を検討していくことから、ご指摘の施策にのみ「関連する取組み」として紐づけは行わないこととしました。</div>

5 その他（全体を通して）

No.	委員からの質問・意見・提言	市からの回答
45	<p>【第2回会議 資料3 参考資料①】</p> <p>参考資料で記載された施策体系の「色表記」に関しては、カラーユニバーサルデザインを確認する必要があるのではないか。一部の色の濃淡での表現は、SDGs アイコンでさえ、判別が難しい表現になっていると聞く。</p> <p>また、SDGs のアイコンを活用した表現も可能であると考える。</p>	▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） カラーユニバーサルデザインについては、計画冊子を作成する中で、検討してまいります。
		▶ 追加回答 引き続き計画冊子の校了に向けて確認してまいります。
		▶ パブリックコメント案への反映 なし
46	<p>表記について、全体的に横文字が多く、市民が見た時に分かりづらいと感じたため、横文字を使用しない分かりやすい文言で記載して欲しい。</p>	▶ 過去、市から回答した内容（会議意見・提言シートより転記） いただいた意見を踏まえ、文言のわかりやすさについて検討してまいります。 基本的にはページ下部に注釈を入れることで対応していきたいと考えています。
		▶ 追加回答 いただいた意見を踏まえ、文言のわかりやすさについて検討してまいります。 基本的にはページ下部に注釈を入れることで対応していきたいと考えています。
		▶ パブリックコメント案への反映 なし